

## プレス発表資料

平成22年 3月 2日  
独立行政法人 防災科学技術研究所

### 災害リスクガバナンス・シンポジウム 「広がる絆・高まる地域防災力」を開催

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、平成22年3月7日（日）、東京国際フォーラムにて、災害リスクガバナンス・シンポジウム「広がる絆・高まる地域防災力」を開催します。

いつ起こるかわからない災害に対するリスク（災害リスク）を軽減するためには、新しい公共の担い手となる様々な地域コミュニティが平常時から強く重層的な絆を形成し、協働して地域防災に取り組み、災害リスクの管理すなわち災害リスクガバナンスを進めることが不可欠です。当研究所では、災害リスクガバナンスの視点から評価した地域防災力を可視化するWEBシステム及びこのシステムを用いたリスクコミュニケーション手法の研究開発に取り組んでいます。

本シンポジウムでは、神奈川県藤沢市六会地区の関係団体の協力を得て、開発したシステムを用いたリスクコミュニケーションの公開デモンストレーションを行います。また、パネルディスカッションでは、地域コミュニティの絆を再生し、災害リスクガバナンスの再編・高度化を促進するためには、「地域発・防災ラジオドラマづくり」を併用することが有効であることやシナリオ作成時の課題についても討論します。

1. 内容：別紙資料による。
2. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

#### 【内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人防災科学技術研究所  
災害リスク情報プラットフォーム  
研究プロジェクト  
リスク研究グループ  
長坂 俊成、須永 洋平  
電 話：029-863-7546

#### 【連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所  
企画部広報普及課  
佐竹、山科  
電 話：029-863-7783  
F A X：029-851-1622

# 災害リスクガバナンス・シンポジウム 「広がる絆・高まる地域防災力」開催について

## 1. 開催趣旨

いつ起こるかわからない災害に対するリスク（災害リスク）を軽減するためには、新しい公共の担い手となる様々な地域コミュニティが、平常時から強く重層的な絆を形成し、協働して地域防災に取り組み、災害リスクの管理、すなわち災害リスクガバナンスを進めることが不可欠となります。当研究所では、災害リスクガバナンスの視点から評価した地域防災力を可視化するWEBシステム及びこのシステムを用いたリスクコミュニケーション手法の研究開発に取り組んでいます。

その研究開発成果を発表する機会として、災害リスクガバナンス・シンポジウム「広がる絆・高まる地域防災力」を下記の通り開催します。本シンポジウムでは、開発したシステムを用いたリスクコミュニケーション手法の有効性や課題について検討します。まず、神奈川県藤沢市六会地域の様々な地域コミュニティ・関係団体の協力を得て、公開デモンストレーションを行います。次に、パネルディスカッションにて、地域コミュニティによる自治や地域ガバナンス、市民協働の視点からみた本手法の活用意義や期待効果、新たな地域防災戦略への展望などについて検討します。さらに、地域コミュニティの絆を再生し、災害リスクガバナンスの再編・高度化を促進するためには、本手法と「地域発・防災ラジオドラマ<sup>※1</sup>づくり」を併用することが有効であることやシナリオ作成時の課題についても討論します。

なお、本シンポジウムは、科学研究補助金「基盤研究(A)Web 公開型防災力勘定表の構築とそれを活用した災害リスクガバナンス手法の開発」による研究成果発表会として開催するものです。

## 2. 開催概要

主 催	独立行政法人 防災科学技術研究所
日 時	2010年3月7日（日）13:00～16:30（開場 12:30）
会 場	東京国際フォーラム ホールD5（東京都千代田区丸の内3丁目5-1）
参加対象	地域の防災リーダー、地区自治組織のリーダー、災害ボランティアリーダー、市民活動団体など、地域活動に関心のある方々。また、防災や地域協働に携わる自治体職員や研究者のご参加もお待ちしております。
参加費	無料
参加申込	WEB または FAX による事前登録制
参加申込先	事前申し込み制です（定員：100名）。シンポジウムウェブサイト< <a href="http://bosai-drip.jp/riskgv_sympo2010.htm">http://bosai-drip.jp/riskgv_sympo2010.htm</a> >、または、FAX 029-863-7541 からお申し込みください。

### 3. プログラム

時間	内容
13:00	開会 総合司会（独）防災科学技術研究所 研究員 坪川博彰
13:00 ～13:30	研究成果の概要報告
13:30 ～14:30	災害リスクガバナンス可視化システムを用いたリスクコミュニケーションの公開デモンストレーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加団体（神奈川県藤沢市六会地区の方々 敬称略・順不同） <ul style="list-style-type: none"> <li>石井 恒男（藤沢市市民自治部六会市民センター長）</li> <li>小林 慎也（藤沢市市民自治部六会市民センター地域経営担当）</li> <li>佐川 昇（六会地区地域経営会議議長）</li> <li>川崎 芳治（六会地区くらしまちづくり会議委員長）</li> <li>堀 千鶴（六会地区自治会連合会副会長）</li> <li>市川 薫（特非 くらし・環境・再生ネットワークひまわり理事長）</li> <li>他（調整中）</li> </ul> </li> <li>・コーディネーター <ul style="list-style-type: none"> <li>長坂俊成（（独）防災科学技術研究所 リスク研究グループ長）</li> </ul> </li> </ul>
14:30 ～15:00	休憩及び交流会
15:00 ～16:30	パネルディスカッション「コミュニティの自治と地域経営、新たな公共の視点から地域防災の戦略を展望する」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネリスト（敬称略・順不同） <ul style="list-style-type: none"> <li>石井 恒男（藤沢市市民自治部六会市民センター長）</li> <li>佐川 昇（六会地区地域経営会議議長）</li> <li>堀 千鶴（六会地区自治会連合会副会長）</li> <li>他（調整中）</li> </ul> </li> <li>・コメンテーター <ul style="list-style-type: none"> <li>佐藤隆雄（（独）防災科学技術研究所 客員研究員）</li> <li>森井康夫（（特非）藤沢災害救援ボランティアネットワーク理事長）</li> </ul> </li> <li>・コーディネーター <ul style="list-style-type: none"> <li>長坂俊成（（独）防災科学技術研究所 リスク研究グループ長）</li> </ul> </li> </ul>
16:30	閉会

最新の情報は下記シンポジウムウェブサイトにて掲載されますので、ご覧下さい。

[http://bosai-drip.jp/riskgv\\_sympo2010.htm](http://bosai-drip.jp/riskgv_sympo2010.htm)

## 4. 研究の背景と今後の展開

地震、洪水、土砂災害、火山、雪氷災害など、いつ起こるかわからない災害に対するリスク（災害リスク）に立ち向かうためには、個人や地域コミュニティをふくめた災害に強い社会づくりが不可欠です。独立行政法人防災科学技術研究所では、災害に強い社会の実現のために、「災害リスクガバナンス」と呼ぶ「災害に関する専門知・経験知・地域知（災害リスク情報）に基づき、多様な主体が社会的な相互作用（リスクコミュニケーション）と社会ネットワークによる協働を通じて、災害リスクを協治すること」を提案しています。さらに、この概念に基づいた地域防災力向上に関するリスクコミュニケーション手法とそれらを支援する情報技術の研究開発に取り組んでいます。

今回開発したシステムは、地域の防災対策に関わる各主体が、当該地域の災害リスクに対する認知や、主体間の現状の協力・連携関係の程度、新たな協力・連携関係づくりに対する意向などの設問に回答することで、その結果から各種災害リスクの認知ギャップや各種防災対策における現状の協力関係の程度や今後の防災対策における協力関係に関する意向の異同をグラフや表として自動的に生成します。これらのリスクガバナンスを可視化したグラフなどをリスクコミュニケーションの素材として、地域で対面のワークショップなどを開催し、新たな協働関係を構築し、各種防災対策の実効性や助長性を高めてゆくことが期待されます。

開発した本システムは、今後、当研究所が開発している地域経営を支える新たな情報基盤であるeコミグループウェアやeコミマップ<sup>※2</sup>と連携し、地域防災を支えるためのツールである「地域防災キット」の1システムとして、組み込まれる予定です。

### ※ 地域発・防災ラジオドラマについて

災害時に地域に起きることをシナリオ（災害シナリオ）にして、この災害シナリオをもとに、ラジオドラマに仕立てたのが、防災ラジオドラマです。

災害シナリオは、行政機関が作成した各種災害の被害想定やハザードマップを基本にし、地域住民が、地域のより細かい事情を勘案しながら災害時に実際に起きることを時間に沿って具体的に整理して作成していきます。作成した災害シナリオは、地域の関係者が具体的に自分たちの直面する事態を考える仕組みづくりのきっかけとなるものです。シナリオを作成することで、事態展開をあらかじめイメージし、それに沿った適切な対応を策定することができます。ウェブサイトには、実際に放送されたラジオドラマや台本が公開されておりますので、是非ご覧ください。

「地域発・防災ラジオドラマ」 <http://bosai-drip.jp/etc/bosai-radio-drama.htm>

### ※1 eコミグループウェアとeコミマップについて

防災科研が開発した地域経営を支える情報基盤として、オープンソースによる無償提供を行っています。詳しくは公式サイトをご覧ください。

<http://www.bosai-drip.jp/ecom-plat/index.htm>

## <ご案内>

当研究プロジェクトでは、研究活動の内容や各地域における活動内容、地域の方の声を詳しく紹介した広報誌「リスク情報と地域防災」を発行しています。

広報誌「リスク情報と地域防災」 <http://www.bosai-drip.jp/etc/riskg-magazine.htm>

災害リスク情報プラットフォーム研究プロジェクト リスク研究グループの最新の活動は、メールニュース「BOSAI-DRIP ニュース」で毎月 25 日頃に配信しています。詳しくは下記 URL をご覧ください。

メールニュース「BOSAI-DRIPニュース」 [http://www.bosai-drip.jp/etc/mail\\_news.htm](http://www.bosai-drip.jp/etc/mail_news.htm)